年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　国語　　科目 現代の国語

教　科：国語　　科　目：現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～

教科担当者：岡田　美幸

使用教科書：（ 新編現代の国語　大修館書店 ）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたって社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会で必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ことばをひらく 評論の読解を通じて自分の考えを持つ。 日本語を使いこなす 自分の考えや思いを適切に表現する基礎を身に付ける。 基礎的な語彙を身に付ける。	茂木健一郎「変わる」ことを楽しもう 正しく書こう　　文を整え、文をつなぐ 漢字読み書き（漢検10～７級級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。	○	○	○	評論の読解を通して理解した内容を、自分に引きつけて考えることができる。 自分の考えや思いを適切に表現する基礎が身に付いている。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	日本語を使いこなす 場面に応じたことばの使い分けについて適切に理解する。 わかりやすく説明する 評論の読解を通じてわかりやすい説明の仕方について理解している。 基礎的な語彙を身に付ける。	伝わるように話そう 福岡伸一「生きることと食べることの意味」 漢字読み書き（漢検10～７級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。	○	○	○	場面に応じたことばの使い分けについて適切に理解している。 わかりやすい説明の仕方について理解している。 評論の読解を通して理解した内容を自分に引きつけて考えることができる。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2学期	聞く力を育む 他人の話を聞く姿勢について関心を持ち、聞く力を養う。 論理を読み取る。 評論の読解を通じて文章の論理性について、理解する。 基礎的な語彙を身に付ける。	聞き取りのレッスン ミニインタビューをしよう 松村圭一郎「商品と贈り物の違い」 漢字読み書き（漢検10～７級程度）	○	○	○	他人の話を聞く姿勢について関心を持ち、聞く力を養おうとしている。 評論の読解を通じて文章の論理性について、理解している。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	伝え合いのレッスン 対話を通じて伝え合うことについて関心を持つ。 情報を向き合う 評論の読解を通じて、情報の読み方や扱い方について理解する。 基礎的な語彙を身に付ける。 百人一首に親しむ	対話のレッスン 佐藤雅彦「情報の力関係」 小林洋美「世界は私にほほえんでいる」 漢字読み書き（漢検10～７級程度） 百人一首	○	○	○	対話を通じて伝え合うことについて関心を持っている。 評論の読解を通じて、情報の読み方や扱い方について理解している。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な国語の語彙が身に付いている。 百人一首の歌に興味を持っている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
3学期	説得力を高める 意見文の書き方の基礎を身に付ける。 社会に目を向けて 評論の読解を通じて、社会的な視点を養う。 基礎的な語彙を身に付ける。	意見文の基礎を学ぼう 姜尚中「何のために「働く」のか」 漢字読み書き（漢検10～７級程度）	○	○	○	意見文の書き方の基礎を知っている。 評論の読解を通じて、社会的な視点を養おうとしている。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査									1
										合計
										70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　国語　　科目 言語文化

教　科：国語　　科　目：言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～

教科担当者：岡田　美幸

使用教科書：（「新編言語文化」　大修館書店　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたって社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力をすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ことばと出会う 日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 季語に興味を持ち、日本独自の自然の味わい方への自分の考え方を深める。 積極的に辞書を引き、語彙を増やす。 国語常識	ドリアン助川「言葉の森を育てよう」 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。 漢字読み書き（漢検６級程度）	○	○	○	随筆の読解を通して理解した内容をもとに日常使っている言葉を見つめ直す。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知る。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	古文に親しむ 文語・歴史的仮名遣い・いろは歌・五十音図 古文を読んで、誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。	ことのは７ 「古文の言葉と仮名遣い」 古文に親しむ 宇治拾遺物語『十二の「子」文字』 漢字読み書き（漢検６級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。	○	○	○	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 「読むこと」において作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え作品を解釈している。 会話文の主語を理解した上で内容を把握している。 「子」の多様な読みと、十二支について辞書で調べ、常識として身に付けている。 古文を読むことに興味を持ち、積極的に音読し響きやリズムを味わおうとしている。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2学期	語りの役割や場面の展開に着目しながら、物語のおもしろさを読み味わう。 登場人物の心情の変化を読み取る。 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。	表現を味わう 村上春樹「鏡」 物語を受け継ぐ 芥川龍之介「羅生門」 漢字読み書き（漢検５級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。	○	○	○	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に捉えることができる。また、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 読書に興味を持ち、作品の構造や語り手の視点を意識しながら作品を味わおうとしている。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 作者のものの見方や感じ方を知り、自分の考えを持つ。 和歌に表れた心情を読み取り、本文中の和歌の果たした役割を考える、 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。 百人一首に親しむ	随筆を楽しむ 清少納言『枕草子』「にくきもの」 物語の広がり 『伊勢物語』「東下り」 漢字読み書き（漢検５級程度） 辞書を引いて言葉の意味や使い分けなどに興味を持つ。 百人一首	○	○	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現、和歌の技法などについて理解している。 「読むこと」において作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を理解し周囲と話し合うことができる。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。 百人一首の歌に興味を持っている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
3学期	漢文の訓読のきまりについて理解する。 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 故事成語について理解し、その背景となるエピソードを知る。 国語常識 基礎的な語彙を身に付ける。	漢文に親しむ 訓読のきまり 現代に生きることば 「蛇足」 漢字読み書き（漢検５級程度）	○	○	○	我が国の言語文化の特質や我が国文化と外国の文化との関係について理解している。 日本語との語順の違いを正確に理解し、その違いを意識しながら音読でき、書き下し文が書ける。 辞書を引いて言葉の意味を知り、使い方を知ることができる。 基礎的な語彙が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査									1
										合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（３学年用）教科　　国語　　科目　文学国語

教　科：国語　　科　目：文学国語　　単位数：　　単位　2

対象学年組：第　3 学年　1 組～

教科担当者：岡田　美幸

使用教科書：（「標準　文学国語」　第一学習社　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたって社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代のすぐれた文章に触れることを通して、文学的な文章の種類や特徴について知識を持ち、文学的な文章における表現の技法を理解すると共に、語彙を豊かにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力をすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	現代の小説（1） ・登場人物の心情の変化に注目して読む。 ・内容や構成、展開、場面設定を的確に捉え、描写の仕方、表現の特色を味わう。 ・基礎的な漢字の読み書きを身に付ける。	「デューク」江國香織 ・「少年」との交流による「私」の気持ちの変化と、デュークの死を受け入れるまでの課程を読みとる。 ・漢字検定４級程度の漢字の読み書き ・辞書を使っての意味調べ	○	○	○	・「私」とデュークの特徴や関係を的確に捉えることができる。 ・それぞれの場面での「私」の心情について理解を深めている。 ・「少年」とデュークの類似性を捉えることができる。 ・漢字の習得と語句調べに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	現代の小説（2） ・登場人物の心情の変化に注目して読む。 ・内容や構成、展開、場面設定を的確に捉え、描写の仕方、表現の特色を味わう。 ・基礎的な漢字の読み書きを身に付ける。	「ナイン」井上ひさし ・登場人物の台詞に潜んだ心情を読みとり、人間の関係性の深浅について考察する。 ・漢字検定４級程度の漢字の読み書き ・辞書を使っての意味調べ	○	○	○	・当時と現在の「新道」の変容と、新道少年野球団のナイン達の現在に対する中村さんの心情を理解できる。 ・正太郎に対する中村さん、英夫、正太郎の見解の違いを捉える。 ・漢字の習得と語句調べに意欲極的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2学期	現代の詩 現代詩のさまざな時代における、スタイルや主題の違う詩を読み、現代詩の特徴である「考える詩」を味わう。 ・漢字を中心として、漢字の読み書きを身に付ける。	「生命は」吉野弘 詩の構成や比喩について読み、自分と他者との関係性について作者の捉え方を理解する。 「そこにひとつの席が」黒田三郎 詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。 ・漢字検定４級程度の漢字の読み書き ・辞書を使っての意味調べ	○	○	○	詩の構成や比喩に注目して読める。 「生命は」 自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解できる。 「そこにひとつの席が」 「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。 ・漢字の習得と語句調べに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	戦争と文学（1） 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品の解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子 詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 「バグダッドの靴磨き」米原万里 登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の台詞の背景にあるものを理解する。 ・漢字検定３級程度の漢字の読み書き ・辞書を使っての意味調べ	○	○	○	・「わたし」の過去と後半生に対する心情をつかむことができる。 ・詩の主題を理解する。 ・登場人物同士の関係性と「僕」の心情をつかむことができる。 ・「僕」の身に起こったことを正確に把握し、「僕」の心情の変化を理解できる。 ・作品の理解をふまえて、人間や社会に対する見方、考え方を深めようとする姿勢が見られる。 ・漢字の習得や語句調べに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
3学期	近代の小説（1） 作品に表れたものの見方や考え方を理解し、作品の解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	「鼻」芥川龍之介 鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 ・漢字検定３級程度の漢字の読み書き ・辞書を使っての意味調べ	○	○	○	・内供の自尊心の内容と性格を理解することができる。 ・内供の鼻の変化を巡っての周囲の反応と「傍観者の利己主義」について理解し、考えを深めることができる。 ・漢字の習得や語句調べに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
										合計 70

令和７年度　年間授業計画

東京都立第三商業高等学校　定時制

		担　当　者	岡　田　美　幸
教　　科	国語	科　　目	文学国語（ ２単位）
対　　象	第４学年		
教　科　書	第一学習社 「改訂版　新編現代文Ａ」		
副教材その他	入門「国語常識チェックドリル」		
目　　標	・各々の進路実現に必要な国語常識を身に付け、言葉に対する感性を磨く。 ・文章を正しく読み取り、視野を広げると共に扱われている内容を自身の問題として捉え、自分なりの見解を持つ。		

学期	時間	単　　元	内　　容
1	１４	小説を読む（三） 国語常識	夏目漱石「こころ」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
	１４	小説を読む 国語常識	夏目漱石「こころ」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
2	１４	小説を読む（五） 国語常識	米原万里「バグダッドの靴磨き」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
	１４	人間と社会 国語常識	森本哲郎「経験の教えについて」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
3	１４	小説を読む(六) 国語常識	中島敦「山月記」 １年間の総復習

評価	1、 中学校･高等学校迄で学習する国語常識が身に付ついている。 2、 文章を正しく読み取った上で、書かれている内容を自分に引きつけて考えることができる。 3、 近代文学を深く読み味わうことができる。

令和７年度　年間授業計画

東京都立第三商業高等学校　定時制

		担　当　者	岡　田　美　幸
教　　科	国語	科　　目	表現　（ ２単位）
対　　象	第４学年		
教　科　書	教育出版「国語表現」改訂版		
副教材その他	啓隆社「コラムと論説」演習ノート		
目　　標	選択者個々の実力及び進路希望に応じた、読む・書く・話す力の向上。		

学期	時間	単　　元	内　　容
1	１４	コミュニケーションのために 文章表現の基礎	ウォームアップ 「表記の仕方」 「語句の用法を文のくぎり方」
	１４	文章表現の基礎	「文章のリフォーム」 「わかりやすい説明の方法」
2	１４	小論文Ｉ	「意見を論理的に述べる」 「セルフディベート」 「文章の『型』」、「構成ノート」
	１４	小論文Ｉ メディア・リテラシー	「テーマ型小論文の実際」 メディアの特性を知る 広告というメディアを読む
3	１４	言葉を届ける	「電子メール」 「電話とメモ」 「手紙」

評価	1．日本語の表現について関心を持ち、基礎知識を持つ。 2．自分の意見を、根拠を明確にして述べることができる。 3.メディアの特性を理解し、メディアに対して意識的に関わることができる。